



南陽家族 第64号
発行日:令和2年4月20日
発行:東京都杉並区高井戸西 1-12-1
社会福祉法人 浴風会
介護老人福祉施設グループ
南陽園:Tel.03-3334-2159 / Fax.03-3334-1745
第二南陽園:Tel.03-3334-2197 / Fax.03-3334-1748
第三南陽園:Tel.03-3334-2193 / Fax.03-3334-2198
編集:浴風会介護施設広報委員会
発行責任者:南陽園園長 植木 雄治

広報

南陽家族

2020年
春号

春が訪れました。



慈雨晴天

令和の4月を迎え、本来なら青紅葉に映える青空を見上げ、輝く新人たちの意欲溢れる春の一言を添えたいこの季節です。ところが、現在、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、日本でも緊急事態宣言が出され、介護現場においても毎日、緊張感の走る新緑の季節を迎えています。

そんな中ですが、浴風会の三特養も、入所のご利用者に日々安心して暮らしていただくこと、また、ケアマネさん達のご協力を得ながら、在宅の高齢者の日々の生活も支え続けることに全力で取り組んでいます。一方で、厚労省の「緊急やむを得ない場合を除いて、ご家族の面会を制限すべき」との通知に則り、ご家族には大変なご理解とご協力をいただいていることに深く感謝申し上げます。

現時点ではまだ明るい出口が見えてきていませんが、こんな時こそ本領発揮！浴風会としても何とか冷静・沈着に、ケアマネさんを始めとした皆様と情報共有を一段と密にして、一丸となってこの難局を乗り切っていきたいと切に願っています。

ご利用者とご家族、そして介護に携わる職員とその家族も含めて地域全体の命を守っていくために、地域の絆を一段と高め、歩を進めていきたいと思います。そのためには、何よりもまず、新型コロナウイルスに負けない免疫力を高めることです。「十分な食事と質の良い睡眠、そして心の安定」に心がけていきましょう。

浴風会職員実践・研究発表会

2月20日に浴風会コミュニティホールで第16回職員実践・研究発表会が開催され、第三南陽園の発表が最優秀賞をいただきました。各施設の発表内容は以下の通りです。

南陽園

トイレ用リフト導入後の実践と取り組み ～「トイレに座りたい」という思いを叶えるために～

発表者：鎌田由里菜・高井知貴



今回は、トイレ用リフト導入後の取り組みについて発表しました。昨年度は、導入までの過程について発表をしましたが、今年度はリフトの活用を目標に機能訓練委員会を中心に取り組みを行ってきました。取り組みの中で、座位保持が困難なため、トイレ利用に消極的だったご利用者が、リフトを使用することにより座位を保つことが楽になり、「本当はトイレに行きたかったけど、体が不自由で諦めていた。職員がトイレに連れて行ってきて嬉しかった」と話され、介護職員も「トイレで排泄できるようになって良かった」と、ご利用者とともに喜ぶことができました。今後も継続して福祉用具の活用等、ご利用者を守り、介護者を守るという視点で、さまざまな方向から改善に取り組み、質の高いサービスの提供に繋がっていきます。

第二南陽園

KYTを活用したリスクマネジメント ～気づきの力を高めるために～

発表者：窪寺 利晃・山岸 和義



平成28年度より、「幅広いリスクに対応する体制を確立し、適切、安全な福祉サービスの提供を資すること」を目的に、「リスクマネジメント委員会」が発足しました。翌年よりサブリーダーが主体となり、現場の「気づきの力」を高めるために「KYT（危険予知トレーニング）」に取り組んでいくことになりました。

施設内研修の他に各フロアで「KYTシート」を作成し、引継ぎの時間やフロア会議などで実施してきましたが、同じような内容のヒヤリハットを繰り返す状況が続いていました。そこで、実際のヒヤリハットを基に、写真を使用したKYTシートを作成し、実施することで、自分たちの身近な状況で考えることができ、職員から多くの「気づき」が出て来るようになり、日ごろからの「気づきの力」を高めていくことができました。その結果、ヒヤリハット件数の減少に繋がっていくことができ、また、各職員の経験値に関わらず、リスクマネジメントへの意識が持てるようになってきたと感じています。

今後も職員の「気づきの力」を高めるために継続してKYTシートを活用した研修を行っていきたいと思います。

第三南陽園

最優秀賞

目的や価値を置く作業(作業療法)を通じて ～新たな人生の目標を実現していく研究～

発表者：實川 拓・辻 翔馬



音楽教室を営んでおられたご利用者にとって、大切な「音楽」に囲まれた生活を送って頂けるよう、人や作業を通じて支援を行い、環境を工夫しながら適応できるように努めました。取り組みを通じては、ご家族や音楽教室の生徒さんの支えもあり、演奏会を指揮者として施設ご利用者の前で披露することが実現しました。演奏会の開催は今後も継続し、「ご利用者のために演奏会を披露していくこと」を自身の役割として、生きる目的を明確に持ち続けられるようにしていきます。

一人ひとりの「大切な作業」は、その人が過ごしてきた人生のストーリーに沿っていると思われます。対象者が印象強く残っている出来事をどのように受け止め、どのような意味づけをされてきたのか。そして、対象者にとって「大切にしている事」、「自分らしさ」などを察知できるようにすることが支援を行う上で重要であると感じました。

その人らしい生活への復帰を促進させていけるよう、頑張っていきます。



令和2年度 事業計画概要

1 地域との協働と社会貢献

地域との連携体制の強化と社会貢献

- ・緊急ショートステイの積極的受入れ
- ・訓練生の受入れ等就労を支援
- ・小・中・高校生の体験学習
- ・地域の小中学校等の福祉教育に講師派遣
- ・近隣居宅介護支援事業所ケアマネジャーとの懇談会開催
- ・地域住民・団体への施設開放
- ・車椅子の無料貸出し
- ・利用者作品展・ワークショップ開催
- ・「浴風会キャラバンメイト」活動に寄与
- ・ボランティアの積極的な受入れ

2 利用者中心のサービスの提供

リスクマネジメントの徹底

- ・メンタルヘルス悉皆研修実施
- ・身体拘束・不適切なケア防止の徹底
- ・事故防止のための見守り機器等の充実

ケアマネジメント体制の充実

- ・新アセスメントシートを用いての施設サービス計画の立案及びマネジメントの展開

看取り介護の推進

- ・配置医師及び「浴風会病院人生の最終段階における医療及びケア運営委員会」と協働し本人及びご家族の意向に沿って対応

サービスマナーの徹底

- ・「虐待の芽チェックリスト」による年2回自主点検の継続

3 専門職の連携を活かした職場づくり

研修体制の充実

- ・キャリアパス研修への対象者全員参加
- ・中途採用職員を対象とした3特養合同研修会の定期開催
- ・外部研修への積極的参加と伝達研修の充実

労働安全衛生の推進

- ・ストレスチェックを活用し、高ストレスを予防
- ・有給休暇の計画的取得

専門性の向上

- ・委員会活動等、専門性を生かした多職種連携の推進
- ・東社協専門部会への参画
- ・東社協主催「アクティブ福祉in東京」での発表
- ・会内「職員実践・研究発表会」での発表

4 着実な事業実施のための経営基盤づくり

収入の確保と経費節減

- ・目標利用率の達成
- ・光熱水費節減の徹底

機器・設備の更新・改修

- ・自動栓化の推進（南陽園）
- ・スチームオーブン、リハビリ機器の更新（第二南陽園）
- ・空調設備（4階）の更新、消防設備（誘導灯）の一部更新（第三南陽園）

防災対策の推進

- ・防災用品の充実
- ・備蓄物品の適正管理

人材の確保

- ・実習生の推薦入職推進
- ・外国人介護士の受入れ
- ・技能実習生の受入れ拡大

南陽園



ひなまつり

雛人形をバックに
写真撮影をしました。

南陽 の 四季



お花見

お花見を楽しみました。
皆さん『綺麗ね』と笑顔で喜んでくださいました。



第二 南陽園

ひなまつり

お雛様と一緒に記念撮影をしました。



お花見

お花見にいきました。桜以外のお花もたくさん咲いていました。



園芸クラブ

ボランティアの方と相談しながら、
ベランダで育てたお花を活けました。

ひなまつり

お雛様と一緒にパシャリ。



第三 南陽園



お花見

のどかな時間を過ごしました。



ご利用者とボランティアの皆様によるマスク作り

南陽園機能訓練室では、ご利用者の体力や筋力低下の予防を目的とした運動と合わせ、趣味に没頭できる時間や多くの交流など、楽しみにしていただけるような時間を生活の中に持てるよう「もの作り」を中心とした作業活動の時間を大切にしています。

そんな時に起きたのが、新型コロナウイルス感染拡大。マスクが不足していく中で少しでも解消できるよう、今年の3月から立体布マスクを作り始めました。失敗を繰り返し試行錯誤しながら大きさや紐の長さを調整し、できるだけ多くの方に使っていただけるようなマスクができました。「型を引く」「布を切る」「ミシンをかける」「アイロンをかける」など工程をわけ、現在はご利用者10名、ボランティア5名で分担して取り組んでいます。ご利用者は「わたしは怖いから切るのは難しいけど、線なら引けるわよ」「しばらくやってないけど久しぶりにミシンを使ってみたい」など、自ら意欲的に「自分が楽しみながらできること」を選び、マスクを作ることを通して「困っている誰かの役にたてる」という役割と喜びを感じていただけるような取り組みになりました。一日も早い終息を願っています。



お知らせ

ボランティア募集!

傾聴や縫い物、クラブ活動、レクリエーションなどをしてくださるボランティアの方を探しています。

* お問い合わせは: 各施設のボランティア担当まで

職員募集!

あなたのお力をお待ちしております

現在、契約職員を随時募集しております。より良い施設づくりのために皆様のお力をお貸しください! お待ちしております。

◎介護福祉士の方: 時給 1,400円

◎介護職員基礎研修・実務者研修の方:
時給 1,300円

◎ヘルパー 2級・初任者研修の方: 時給 1,200円

◎資格のない方: 時給 1,100円

* お問い合わせは: 各施設の採用担当まで

ご意見をお寄せください!

内容に関するご意見ご感想をお寄せください。今後、日常生活の様子やご利用者のお声などを引き続き紹介していきます。皆様のお声をお待ちしています。

* 編集担当: 佐野(南陽園)、佐藤(第二南陽園)、熊本(第三南陽園)

〈各施設の連絡先〉

南陽園

TEL:03-3334-2159 / FAX:03-3334-1745

第二南陽園

TEL:03-3334-2197 / FAX:03-3334-1748

第三南陽園

TEL:03-3334-2193 / FAX:03-3334-2198

ホームページ:<http://www.yokufuukai.or.jp>

新人職員紹介

今年度は、ケアワーカー 9名の新人職員が三特養に配属となりました。

先輩たちより日々学びながら、ご利用者が穏やかに楽しく過ごせるように、努力してまいります。よろしくお願いたします。



編集後記

- 今年暖冬で桜の開花が早く、あっという間に満開になりました。園庭ではお散歩を楽しむご利用者・ご家族の姿が見られ、春のひと時が感じられました。(佐野)
- コロナウイルス関連のニュースが毎日聞かれていますね。当施設でもいくつかの行事が中止になっています。ご利用者とともに手洗い、うがいを行い、体調に気をつけています。(佐藤)
- 世の中自粛ムードとなっています。焼鳥屋さんにも行きたい所ですが、家でゆっくりと芋焼酎のソーダ割りを楽しんでいます。(熊本)